

## 自己評価報告書

平成23年 3月31日現在

機関番号：14501  
研究種目：若手研究（B）  
研究期間：2008～2011  
課題番号：20730118  
研究課題名（和文） インテリジェンスをめぐる戦前の日米関係：SIGINT情報と政策決定過程  
研究課題名（英文） The Intelligence Factor in Prewar US-Japan Relations:  
The Role of SIGINT on Decision Making  
研究代表者：箕原俊洋（MINOHARA, TOSHIHIRO）  
神戸大学・法学研究科・教授  
研究者番号：40314455

研究分野：社会科学

科研費の分科・細目：政治学・国際関係論

キーワード：インテリジェンス、シグイント、通信解読、政策決定、日米関係

## 1. 研究計画の概要

本研究計画の概要であるが、マルチアーカイバルな資料調査をもとに、戦前の日米関係を再構成し、太平洋戦争へと至るプロセスをより整合性をもって説明することが主目的である。インテリジェンスだけをもって全てを説明しようとするのは誤りでしかないが、他方、インテリジェンスを全く考慮しない開戦決定過程というのもまた不完全な歴史像の構築へとつながる。双方のバランスに留意しながら本研究では SIGINT が日米関係、さらには両国の政策決定過程のもたらした影響を考察し、新たな歴史解釈を提示する。くわえて、未だ謎の多い日米両国の情報機関の実態をそれぞれ解明・検証することも本研究の副次的な目的である。

## 2. 研究の進捗状況

国内外における資料調査・収集はほぼ終わった。根幹を成す SIGINT 関係の文書は、メリーランド州の国立公文書館 (National Archives II) とヴァージニア州の国家安全保障局資料館 (National Security Agency Library) の二カ所において網羅することが

でき、他方、国立公文書館にて、国務省 (RG59)、および国家安全保障局 (RG457) の資料を中心に調査を行った。他方、国家安全保障局資料館では、部分的に秘密指定が解除されている Target Intelligence Committee (TICOM) の資料、さらに直接解読作業に携わった主要関係者のオーラル・ヒストリー (William Friedman, Frank Rowlett, Laurance Safford 等) のコレクションの閲覧・調査も終了した。

## 3. 現在までの達成度

②おおむね順調に進展している。

資料収集を終えた現時点において、資料の読み込み作業が重要となるが、こちらも夏までには完了し、早速執筆の段階に入れるのではと考えている。他方、それ以前に内外の大学・研究所等で研究内容に関する学術的な報告を行っているが、その集大成とも言うべき学会報告をこの6月にアメリカにて予定している。ここでのフィードバックを踏まえ、本格的に単著の上梓に取りかかるが、こうしたペースから判断すると、現在までの達成度はおおかた順調であると結論づけられよう。

#### 4. 今後の研究の推進方策

本年度で研究実績の中心となったのは、研究報告の実施と資料の読み込み作業であった。これにより、執筆の焦点がより鮮明となり、研究の全体的な方向性も確実に掴むことが可能となった。今後の研究の推進方策であるが、まず挙げられるのは、念願である単著の上梓である。今夏より本格的に執筆に取り組む予定なので、集中できる時間を確保さえすれば、遅くとも 2012 年度中に刊行ができるのでは考える。その他には、海外での学会報告を積極的に行い、可能であれば英字での出版もできればと考えている。

#### 5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 0 件)

[学会発表] (計 4 件)

① 2010年 8月 日本インテリジェンス研究会

「危機における政策決定とインテリジェンス：太平洋戦争前夜の日本外交をケース・スタディーとして」

② **National Taipei University, Taiwan.**

The Intelligence Dimension to Japan's Decision for Pearl Harbor.

③ **Japanese Studies Institute, Seoul National University, South Korea.**

Fog of Intelligence: The Collapse of U.S.-Japan Negotiations and the Decision for the Pacific War [in Japanese].

④ **National Defense Institute, Lisbon, Portugal.**

Japan's Defense and Security Policy Evolution

[図書] (計 2 件)

① Tosh Minohara eds., *Tumultuous Decade: Japan's Challenge to the International System, 1931-1941*, Toronto: University of Toronto Press, *forthcoming Fall 2011*.

② 蓑原俊洋 「日米交渉と開戦——『東郷変節の謎に迫る』」 筒井清忠編『解明・昭和史——東京裁判までの道』(朝日新聞出版、2010年)、211-236。